村政問題

問 次期村長選への出馬の意向は

答 引き続き村政の旗振り役を

篠﨑久美子議員

【次期村長選】

問　出馬の意向と、マニュフェストに対しての自己評価は。

村長　次期も引き続き村政の旗振り役を務めたいと決意しました。マニュフェストはおよそ70％の達成度と思っています。

問　「観光局の見直し」について、現場と観光局に、現状に対しての認識のずれがあるのでは。

村長　自分も感じているところです。

【男女共同参画社会の実現】

問　現在の取り組み状況と成果、今後の取り組み予定は。

村長　推進協議会委員、地区普及員を選出してもらい啓発活動を行っていますが参加者も一定で人数も少ない状況。今後はサポート事業も充実したいと思います。

問　委員会や審議会への女性の登用比率は。

村長　平成19年は12・3％、20年は10・9％、21年は9・4％。平成21年4月1日現在の県下市町村の同比率は22・5％で、県下平均を大きく下回っています。

問　男女共同参画条例制定への取り組み予定は。

村長　現在は「男女共同参画づくり計画」に基づいて事業を行っていますが、条例制定に向けた準備段階とご理解いただきたい。

問　各地区普及員に自主的活動として依頼している事柄は。

村長　村からの依頼は全くなく、村主催の講演会等への出席依頼のみです。

問　今後、負担が増大する介護、福祉分野での啓発的取り組みは。

村長　人手不足に関しては議論途中とお考え願いたいです。

【景気・雇用対策】

問　村として景気テコ入れ策の考えは。

村長　今秋の信州デスティネーションキャンペーン（JR東日本宣伝企画）を観光業の活性化の好機と考えています。

問　村内の雇用状況と雇用対策は。

村長　県の基金を財源とした村の緊急雇用創出事業として平成22年度予算計上し雇用の取り組みを図ります。商工業者への支援策として融資保証を実施しています。

問　第4次総合計画にうたわれている特性を活かした雇用促進研究と、広域的雇用対策とは。

村長　観光活性化への取り組みが研究にあたると考えます。大北地域の一員として情報交換を行っていますが、受け皿が少ないのが当村の弱点と考えます。

問　ーターン、Uターン者数の把握は。

村長　把握していません。

問　将来に向けて産業の多重化構造を考える必要があるのではないか。

村長　言われる通りです。

白馬村男女共同参画社会づくり計画及びダイジェスト版